ぐんま共済協同組合

田部井俊勝理事長談　設立：昭和44年

未来へのメッセージ

ぐんまで生まれ、ぐんまで育った、ぐんまの人の、ぐんま共済として、さらに豊かな未来に向かって、相互扶助の精神を基盤に「ふるさと群馬」の発展に貢献していく決意です。

１枚の写真（シンボルマーク）

“上毛三山”を表しているとともに、過去・現在・未来へと力強く躍進を続ける「ぐんま共済」を表現しています。さらに、「人」「地域」「ぐんま共済」の郷土愛による心の繋ぎ合いを表しており、鶴舞う勇姿のように、健やかに、かつ力強く羽ばたいていきたい、こんな願いが込められています。

漢字一文字

事業の目的である、お客様の「健やか」と「安心」を実現するために、組合共通の価値観である基本理念“こころ新たに”をとても大事にしています。常に初心に立ち返って、気持ち、思いを新たにすること。それがお客様の“幸せづくり”の原点であると考えます。

群馬県印刷工業組合

吉田吉太郎理事長談　設立：昭和32年

未来へのメッセージ

印刷産業の市場は縮小傾向にありますが、工夫により自社の業態を進化・深化させ、融合した対応を生み出す企業も見られ、厳しい環境さえも吸収する業態に変化すると感じています。

１枚の写真（上州印刷人）

平成20年に発行した組合創立50周年記念誌に全組合員の写真を掲載したもので、全員分の写真を集めるために苦労した思い出があります。昭和32年12月の設立から59年が経ち、理事長も８代目となっております。そして平成29年12月で60周年を迎えます。

漢字一文字

「相」互に向き合い「心」を互いに交わらせることで、組合員と想いを共にし、組合活動へ思い巡らし計画を共創しています。「想う」、「思い巡らす」、「考える」、「思いやる」、「計画を立てる」を念頭に組合運営をしています。

群馬県生花商業協同組合

近藤　創理事長談　設立：昭和25年

未来へのメッセージ

５年後のあるべき姿をしっかりと思い描き、１歩１歩進めるような組合活動を志すと共に、技術と感性を育み、10人全てのお客様に満足してもらえる専門店を目指します。

１枚の写真（群馬グランプリ）

生花店の技術向上を目的に、毎年１回開催し、昨年で25回目を迎えたコンテストです。予選審査で選抜された８名が、花束づくりとフラワーアレンジメントで、出来栄えを競います。また、同コンテストの上位３名が群馬県代表として全国大会に挑戦します。

漢字一文字

世の中が大きく変化する中、次世代へバトンタッチする時期を迎えています。長い時の中で継承されてきた技術や理念を、糸を紡ぐのと同じように、丁寧に後世に伝え、命を吹き込んだ花を通して、お客様との出会いを紡ぎます。

太田流通センター卸協同組合

梅澤　悟理事長
青木規夫副理事長談　設立：昭和63年

未来へのメッセージ

団地設立から25年が経過し、経済環境や組合員の業態も変化しつつある中で、組合も組合員のニーズに対応しながら、流通団地本来の機能をこれからも変わらず維持していきます。

１枚の写真（団地完成フェスティバル）

平成４年に太田流通団地完成を記念し、開催されたフェスティバルのオープンセレモニーの模様です。当日は、企業毎に模擬店を出店し、来場者は２万人を超える盛況ぶりでした。組合員や当時の役員との協力で成し遂げたこの一大イベントは、今も変わることのない組合の「原点」です。

漢字一文字

「変化」なく企業や組合が前進していくことは難しいですが、変わることのない「不変」の想いを持ち続けることも重要です。「変わること」と「変わらないこと」。相反する２つの言葉には、同じく、組合員と組合の更なる発展という願いが込められています。

全組合紹介まであと406組合